

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21132	雨水管渠等整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	2
51321	下水道計画事業(下水道整備課分)	公営企業局	下水道整備課	シートB	4
51321	中央処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	6
51321	西部処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	8
51321	北部処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	10
51321	北条処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	12
51321	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	14
51321	上野処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	シートB	16

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	浸水対策担当	連絡先	948-6957			
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リダー名	西本 義明	担当者名	主査	奥野 翔太	主任	三浦 良輔
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	浸水対策担当	連絡先	948-6957			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リダー名	西本 義明	担当者名	主査	奥野 翔太	主任	三浦 良輔

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	雨水管渠等整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	ポンプ場や雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。			-		
総合戦略	4223	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所になる小中学校など重要施設への給水ルート確保のため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。
		政策	②生活の質と都市力の向上			
		施策	②安全・安心な暮らしの推進			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、都市計画法、第4次松山市下水道整備基本構想					

事業の目的(どのような状態にするか)	雨水管渠の整備により、浸水被害の軽減を図り、市民の安全・安心を確保する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公共下水道処理区内の排水路は、宅地化に伴い遊休池が激減したうえに在来水路が不良のため、降雨時に浸水が生じ生活環境が悪化しているため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	基本構想で定める9地区の整備に取り組み、現在3地区が完成し、残る6地区の浸水被害区域に対し、浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	/	
始期・終期(年度)	平成 20	～	令和 8	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出 公共下水道事業費用		下水道建設改良費 営業費用		管渠建設費 総経費		R3 予算措置時期	当初	繰越
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				1,600,464	1,860,717		2,072,288					
決算額(B)(単位:千円)				635,585	1,069,875							
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金	179,706	431,579		796,690					
			県支出金	0	0		0					
			市債	234,600	501,800		1,059,000					
			その他	0	54,925		7,566					
			一般財源	221,279	81,571		209,032					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				工事請負費 965,356千円 委託料 79,779千円 補償費 23,750千円		委託料 129,732千円 工事請負費 1,858,508千円 補償費 84,048千円						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち912,734千円は前年度繰越分		予算額のうち716,679千円は前年度繰越分						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		964,879		790,842				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	山西地区などの6地区の雨水管渠整備					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	概ね計画通りの工事の進捗が図れた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	計画通り雨水管渠の整備を進める事によって、浸水被害の軽減を図れている。			
事業の公共性	必要性	1 2:日常生活に不可欠(必需) 3:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し		
R4年度の目標	雨水管渠を延伸し、浸水被害の軽減を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	和泉・古川地区:実施設計業務委託、雨水幹線工事 空港通地区:雨水幹線工事 北条地区:雨水幹線工事 山西地区:雨水幹線工事 東山地区:雨水幹線工事 南江戸地区:雨水管工事		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備済地区数	地区	目標値	9	9	9	9	9	目標値	9	
			実績値	3	3	3	3	達成年度	R8年度		
		%	達成度	33	33	33					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	浸水被害地区における整備地区の事業完了箇所を整備目標値とする。各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと整備完了箇所数の達成とならない。				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため。									
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値					達成年度		
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値					達成年度		
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	浸水解消件数	件	目標値	214	214	214	214	214	目標値	214	
			実績値	30	30	30	30	達成年度	R8年度		
		%	達成度	14	14	14	14				
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	浸水地区の浸水被害解消件数を目標値とする。各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと浸水被害解消件数の増加・達成とならない。				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため									
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値					達成年度		
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値					達成年度		
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	整備未完了の6地区を並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと整備完了箇所数の達成とはならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいる。									
	成果指標	整備未完了の6地区を並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと浸水被害解消件数の増加・達成とはならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいる。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	事業計画担当	連絡先	948-6819			
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	主幹	西森 裕司	担当者名	副主幹	伊与田 亮	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	事業計画担当	連絡先	948-6819			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	主幹	中川 耕児	担当者名	副主幹	荻山 慶志	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	下水道計画事業(下水道整備課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域の整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第4条					
事業の目的(どのような状態にするか)	下水道の整備を行うことにより、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和33年の下水道法改正により、松山公共下水道事業計画認可を受け、下水道事業に着手し、昭和37年に供用を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市域のうち、6,943.4haを全体計画区域の対象としている。(処理人口427,526人)					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 33	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用		目	総係費	R3 予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度	R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					54,200		14,000		44,996
決算額(B)(単位:千円)					35,368		14,916		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		10,725		1,478		14,248
			県支出金		0		0		0
			市債		0		0		0
			その他		0		0		0
			一般財源		24,643		13,438		30,748
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料 14,908千円		委託料 41,500千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						R3年度から(下水道整備課分)として、シートを新規作成 流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		18,832		-916		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山公共下水道全体計画の見直し					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道事業計画の変更を行い、公共下水道事業の普及促進に寄与した。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	平成26年度に「持続的な汚水処理システム構築」が国土交通省、農林水産省、環境省の3省合同で策定され、今後10年程度(令和8年度)を目標に各種汚水処理施設の整備を概ね完了することが示された。そのため、本市では、計画の見直しや効率的な下水道整備の推進に取組み、普及拡大を一層進めていく必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	「第4次松山市下水道整備基本構想」の整備計画に基づき、汚水処理の10年概成に向け、効率的かつ計画的に整備を進める。		
R4年度の目標	効率的かつ計画的な下水道整備を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	事業計画の変更 下水道熱導入可能検討及びポテンシャルマップ作成		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類							最終目標値の 設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類							最終目標値の 設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類							最終目標値の 設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類							最終目標値の 設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類							最終目標値の 設定の考え方			
	本指標の設定理由										
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類							最終目標値の 設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	中央処理区担当	連絡先	948-6541	
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リダー名	副主幹	林 昌宏	担当者名	主任 佐々木 勇気
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	中央処理区担当	連絡先	948-6541	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リダー名	副主幹	西森 裕司	担当者名	副主幹 林 昌宏

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	中央処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域の整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)			1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し	

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	中央浄化センターに流入する区域(3,464.2ha)のうち事業計画区域内(3,219.6ha)の249,100人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 32	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		目	管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	下水道建設改良費					
				R2年度	R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				1,064,435	1,008,933	1,156,776				
決算額(B)(単位:千円)				554,348	470,688	-				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			93,231	83,686	247,044				
	県支出金			0	0	0				
	市債			392,100	298,700	757,100				
	その他			69,017	64,142	26,956				
	一般財源			0	24,160	125,676				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算				工事請負費 383,589千円 委託料 50,014千円 補償費 37,081千円		工事請負費 957,383千円 委託料 118,687千円 補償費 80,590千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち367,893千円は前年度繰越分 R3年度から内部留保金は一般財源に区分		予算額のうち557,826千円は前年度繰越分				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	510,087	538,245				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	石井・桑原・久米地区の管渠整備を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし		
R4年度の目標	下水道処理人口普及率65.6%		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	石井2号汚水管工事 桑原2号汚水管工事 久米1号汚水管工事		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備面積	ha	目標値	5,122	5,165	5,207	5,243	5,269	目標値	5,372	
			実績値	5,172	5,246	5,281			達成年度	R8年度	
		%	達成度	101	102	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	活動指標		目標値						目標値		
				実績値					達成年度		
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	活動指標		目標値						目標値		
				実績値					達成年度		
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0	
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.3	100.6	100.3					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	成果指標		目標値						目標値		
				実績値					達成年度		
			%	達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値						目標値		
				実績値					達成年度		
%			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	寶田 要	担当者名	主査 久保 壽史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	寶田 要	担当者名	副主幹 伊与田 亮

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	西部処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	西部浄化センターに流入する区域(2, 354. 0ha)のうち、事業計画区域内(2, 134. 4ha)の124, 720人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 59	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		下水道建設改良費		管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				2,746,767		2,383,395		2,378,959			
決算額(B)(単位:千円)				1,451,333		1,284,482		-			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			362,657		348,007		586,610			
	県支出金			0		0		0			
	市債			905,600		747,700		1,462,800			
	その他			183,076		75,044		7,150			
一般財源			0		113,731		322,399				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				-		工事請負費 1,096,719千円 委託料 141,665千円 補償費 44,573千円		工事請負費 1,843,526千円 委託料 401,694千円 補償費 132,539千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		決算額のうち1,197,196千円は前年度繰越分 R3年度から内部留保金は一般財源に区分		予算額のうち1,051,519千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,295,434		1,098,913			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	山越・久枝・三津浜地区の管渠整備を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	下水道処理人口普及率65.6%		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・山越1号汚水幹線工事 ・山越4号汚水幹線工事 ・久枝1号汚水管工事 ・中須賀1号汚水管工事	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備面積	ha	目標値	5,122	5,165	5,207	5,243	5,269	目標値	5,372	
			実績値	5,172	5,246	5,281			達成年度	R8年度	
		%	達成度	101	102	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	活動指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	活動指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0	
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.3	100.6	100.3					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	成果指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	寶田 要	担当者名	主査 久保 壽史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	寶田 要	担当者名	副主幹 伊与田 亮

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	北部処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	北部浄化センターに流入する区域(531.9ha)のうち、事業計画区域内(399.1ha)の16,480人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 7	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		下水道建設改良費		管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				449,529		551,449		517,793			
決算額(B)(単位:千円)				228,320		202,987		-			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳 R4→予算内訳	国支出金			25,492		45,931		99,864			
	県支出金			0		0		0			
	市債			168,400		131,200		351,900			
	その他			34,428		14,791		0			
	一般財源			0		11,065		66,029			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算				工事請負費 178,279千円 委託料 8,506千円 補償費 15,982千円		工事請負費 407,039千円 委託料 31,164千円 補償費 79,590千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち188,423千円は前年度繰越分 R3年度から内部留保金は一般財源に区分		予算額のうち327,073千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		221,209		348,462			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	内宮地区の管渠整備を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし		
R4年度の目標	下水道処理人口普及率65.6%		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	内宮汚水管工事		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備面積	ha	目標値	5,122	5,165	5,207	5,243	5,269	目標値	5,372	
			実績値	5,172	5,246	5,281			達成年度	R8年度	
		%	達成度	101	102	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	活動指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0	
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.3	100.6	100.3					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	成果指標			目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	担当者名	主査 久保 壽史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹 伊与田 亮

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	北条処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	北条浄化センターに流入する区域(541.6ha)のうち、事業計画区域内(541.6ha)の17,730人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 50	～	令和 6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		目	管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	下水道建設改良費					
				R2年度	R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					15,975		12,312			9,841
決算額(B)(単位:千円)					294		0			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0			1,100
	県支出金				0		0			0
	市債				0		0			7,400
	その他				294		0			0
一般財源				0		0				1,341
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						予算執行なし	工事請負費 9,541千円 委託料 200千円 補償費 100千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち3,991千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	15,681		12,312			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地元調整及び現地調査					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	計画的な管渠整備により、徐々に生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし		
R4年度の目標	下水道処理人口普及率65.6%		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	難波3号汚水管工事		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備面積	ha	目標値	5,122	5,165	5,207	5,243	5,269	目標値	5,372	
			実績値	5,172	5,246	5,281			達成年度	R8年度	
		%	達成度	101	102	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	活動指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	活動指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0	
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.3	100.6	100.3					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	成果指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	担当者名	主査 久保 壽史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹 伊与田 亮

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	下水道の普及促進				市長公約	-				
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		下水道法,下水道法施行令,松山市下水道条例,第4次松山市下水道整備基本構想								
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、公共下水道の整備に取り組む。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	浅海処理区の事業計画区域内(46.6ha)の910人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		/				
始期・終期(年度)	平成	3	~	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		項	下水道建設改良費	目	管渠建設費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					800				400		400
決算額(B)(単位:千円)					0				0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		0				0		0
			その他		0				0		0
			一般財源		0				0		400
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						予算執行なし		工事請負費 300千円 委託料 100千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		800		400					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地元調整及び現地調査											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		計画的な管渠整備により、徐々に生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特になし			
R4年度の目標	下水道処理人口普及率65.6%				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				浅単-22001汚水管工事に伴う実施設計委託			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備面積	ha	目標値	5,122	5,165	5,207	5,243	5,269	目標値	5,372	
			実績値	5,172	5,246	5,281			達成年度	R8年度	
		%	達成度	101	102	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0	
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.3	100.6	100.3					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	中央処理区担当	連絡先	948-6541	
	部等長名	花山 康司	課等長名	尾崎 隆輝	リダー名	副主幹	林 昌宏	担当者名	主任 佐々木 勇気
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当グループ名	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	尾崎 隆輝	リダー名	副主幹	寶田 要	担当者名	副主幹 伊与田 亮

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	上野処理区管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域の整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
事業の目的(どのような状態にするか)	計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山市公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、行政区域を越えて汚水処理を行うこととなった。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	上野地区の事業計画区域内(5.1ha)の338人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		-		
始期・終期(年度)	平成 30	～	令和 4	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		下水道建設改良費		管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				11,881		12,321		12,806			
決算額(B)(単位:千円)				3,058		3,882		-			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			1,800		2,300		8,800			
	その他			1,258		122		0			
	一般財源			0		1,460		4,006			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				工事請負費 2,496千円 委託料 1,386千円		工事請負費 9,000千円 委託料 2,716千円 補償費 1,090千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち2,496千円は前年度繰越分 R3年度から内部留保金は一般財源に区分		予算額のうち6,075千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		8,823		8,439			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	上野地区の管渠整備を実施する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	徐々にではあるが、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	下水道処理人口普及率65.6%		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・上野町宅内樹設置工事	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備面積	ha	目標値	5,122	5,165	5,207	5,243	5,269	目標値	5,372	
			実績値	5,172	5,246	5,281			達成年度	R8年度	
		%	達成度	101	102	101					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	活動指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	活動指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0	
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度	
		%	達成度	100.3	100.6	100.3					
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標であるため。			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している。									
	成果指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	成果指標		目標値							目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標以上の整備が出来た。									
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											